

広く会員を集める必要痛感 横断的組織の魅力活かして

中国・四国支部事務所長 成光一夫



広島市内の事務所で執務する成光事務所長



地で勤務させて貰っております。

中国・四国支部の会員の大半は広島県及び岡山県に集中しており、岡山県以外の会員数が極めて低い現状にあり、今後の会員獲得の大きな課題となっております。

日遊協は、パチンコ・パチスロ業界の横断的組織として、業界発展のために、警察庁等関係行政機関との緊密な連携のもと、業種の利害関係の垣根を越えて各種施策を積極的に推進しています。メーカーからホールまで一緒に活動できることに存在意義があり、これまでも、数々の実績を残していることは、誰しも認めるところではと考えております。

平成23年4月から、日遊協中国・四国支部事務所長を務めております成光です。前職は、他の事務所長と同様に警察官で、その職業は、地域、交通、警備、刑事警察等多くの職種を経験させて貰っております。

当中国・四国支部事務所は、広島市の中心部にあり、近くには、広島県庁、また、皆様もよくご存じのことと思いますが、広島平和記念公園も直近にあるなど、地理的には極めて利便のよい恵まれた

業界発展のためには、今後ともなくてはならない存在であり、各種活動の活性化或いはその実効を期すためにも、会員の拡大は必要不可欠なものであり、支部長以下

全役員が各種機会をとらえての獲得活動に力を入れているところです。会員となってもメリットが見えない等といった声も聴きますが、

ある会員が、日遊協の会員というのは、「メリットを求めるところではない」とハッキリ断言されたことがあります。これは、ホールを数多く経営する大手の社主の言葉ですが、誠に意を得た言葉であり、大きな感銘を受けました。

少子化、さらには、パチンコ人口の減少等と

業界を取り巻く情勢は厳しいと言われておりますが、

当業界に携わるものの全体的数は莫大な数に及び、これから従業者等の生活を支えるためには、未来永劫、業界

の発展が必要などところであり、会員拡大には、今後とも力を傾注していく必要があると考えます。

また、先般ある講演の機会に、当業界の行う、社会貢献、ボランテ



イア活動等について、一般世論の大きな支持を得る活動の展開が必要であるとの言葉を拝聴しました。

当業界においては、どこの都道府県においても、古くから、各種浄財の寄付等、集計すれば莫大なものを寄付するなど、金銭を通じて大きな社会貢献をしてきているところと。各々、団体等から、これら浄財の申込は引きも切らず、その期待にその都度応えている様子は、業界人であれば誰もが知っております。

反面、社会の評価はどうかという、寄付の都度、その寄付先から感謝されることはあっても、これに終始し、業界の貢献に応じた社会的評価は、低いのではと考えさせられます。

貢献に応じた正しい評価が、社会的に、しかも継続的に得られるよう配慮した社会貢献活動へとシフト替えしていくといったことも必要ではないかと考えるところでです。